

## 令和4年度 第2回青森市子ども会議

- 1 日 時 令和4年6月11日(土) 9時30分～12時30分
- 2 場 所 青森市総合福祉センター1階 視聴覚室
- 3 出席者 会場参加：子ども会議委員14名、子どもサポーター2名、事務局3名  
オンライン参加：子ども会議委員2名、子どもサポーター1名
- 4 活動内容 (1) アイスブレイク  
(2) Aomo LIVE (アオモライブ) 3分動画鑑賞  
(3) 子どもの権利普及啓発グッズについて  
(4) 今後の活動について

### 5 開催概要

#### アイスブレイク

今日の会議では、今年度初めて参加する委員と、新しい友だちとして小学生委員が1名増えたので、初めにアイスブレイクを行いました。

まずは、みんなの名前を覚えるために「勝ってつなげて名前を覚えろ」というゲームを行いました。ルールは簡単で、お互いに自己紹介をしてからじゃんけんをして、勝った人が負けた人の名前を自分の名前の後ろにつなげて名乗ることができます。これを繰り返して、1番多く名前をつなげられた人が勝ちです。今回の勝者は、9人の名前をつなげて覚えることができた小学生委員でした。6人までは覚えることができた委員が多かったです。

次にチームに分かれて「気持ちをそろえてハイポーズ」というゲームを行いました。お題に合わせてみんなでポーズをとり、全員が同じポーズをとったチームに1ポイント入るというチーム戦です。お題は「バスケットボール」や「コック」「警察官」「掃除」などがあり、1番揃いそうなポーズを予想して協力しました。「バスケットボール」ではシュートポーズやドリブルポーズの人がいたり、「掃除」では、掃き掃除や拭き掃除の人がいたり、全員で揃えることは意外と難しかったです。

どちらのゲームも、みんなで和気あいあいと楽しむことができました。



## Aomo LIVE（アオモライブ）3分動画鑑賞

前回の会議で撮影した3分動画が完成したので、みんなで鑑賞しました。3分という短い動画なので、使われなかったシーンもあって残念でしたが、初めての動画撮影にもかかわらず、みんなで協力して良い作品ができたと思います。

この3分動画は、青森ケーブルテレビの市民チャンネルで令和4年6月21日（火）に放映された後、青森市の公式YouTubeでも公開されます。ケーブルテレビを契約していない委員・サポーターは青森市公式YouTubeでの公開を楽しみにしていました。

## 子どもの権利普及啓発グッズについて

今年度作成する子どもの権利普及啓発グッズは、LINEの投票により「トートバック」に決まりました。今日はトートバックの色や形、デザインを決めました。トートバックの大きさは、A4が入るサイズが良いという声が多かったので、形について、縦長と横長のどちらにするか多数決を取りました。面白い意見では、横や縦ではなく、斜めの形のトートバックが良いという意見もありましたが、横長の船底型が一番人気だったので、この形で決まりました。色は、ほぼ全員から賛同をもらったので、ベージュや黄なりのような素材を生かした色に決まりました。

デザインは、みんなが考えてきてくれたものの中から良いところを取り入れ、組み合わせました。今年度は黒一色でプリントして、シンプルながらも格好良く仕上げる予定です。でき上がったトートバックを持っているところに調査活動に行きたいです。



## 今後の活動について

次に今後の活動について各グループに分かれて話し合いました。



イベントグループ	PCAPCA グループ
<p>○スポーツイベントの企画</p> <p><b>種目</b> 鬼ごっこ、しっぽとり、ウォーキング(ツアー兼ねる)、バスケットボール、バドミントン、テニス、フリスビー、フリスビードッジ、スラックライン、モルック</p> <p><b>場所</b> マエダアリーナ、スポーツ広場、沖館リバーランド、市民センター、浪岡体育館、各小中学校の体育館など</p>	<p>○夏休み中のスケジュール計画</p> <p><b>1日目</b> 移動：ねぶたん号を使用 北のまほろば歴史館→県立美術館</p> <p><b>2日目</b> 青森駅前散策→郷土館→クレオパトラで昼食→八甲田山雪中行軍資料館</p> <p><b>3日目</b> 浪岡城跡→中世の館→サンライズ食堂</p>

各グループでの話し合いが終わった後、今日決まった内容について情報を共有するため、グループの代表者が発表をしました。

イベントグループからは、運動イベントとして鬼ごっこやしっぽとりなどみんなが楽しめる種目を企画していることや、現在想定している会場についての発表がありました。

PCAPCA グループからは、実際にねぶたん号を利用して観光施設に行く企画などの発表がありましたが、イベントグループの委員から「郷土館っていま休館中じゃないの？」と聞かれ、調べてみたところ休館中だったので、各施設情報についても事前に調査する必要があることがわかりました。

次の会議では、運動イベントで実際に行う種目を決めたり、訪問したい施設等について手分けして調べたりするほか、夏休み中の活動スケジュールも決めたいと思います。

最後に、事務局からセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン主催の『子ども・ユースキャラバン 2022』への参加について打診があったことを教えてもらいました。今年度も他団体からイベント参加のお誘いがあったことは、これまでの私たちの活動により『青森市子ども会議』の認知度が高くなってきたからだと思うので、今後も公式 Instagram 等を通じて青森市子ども会議の PR をがんばります。